

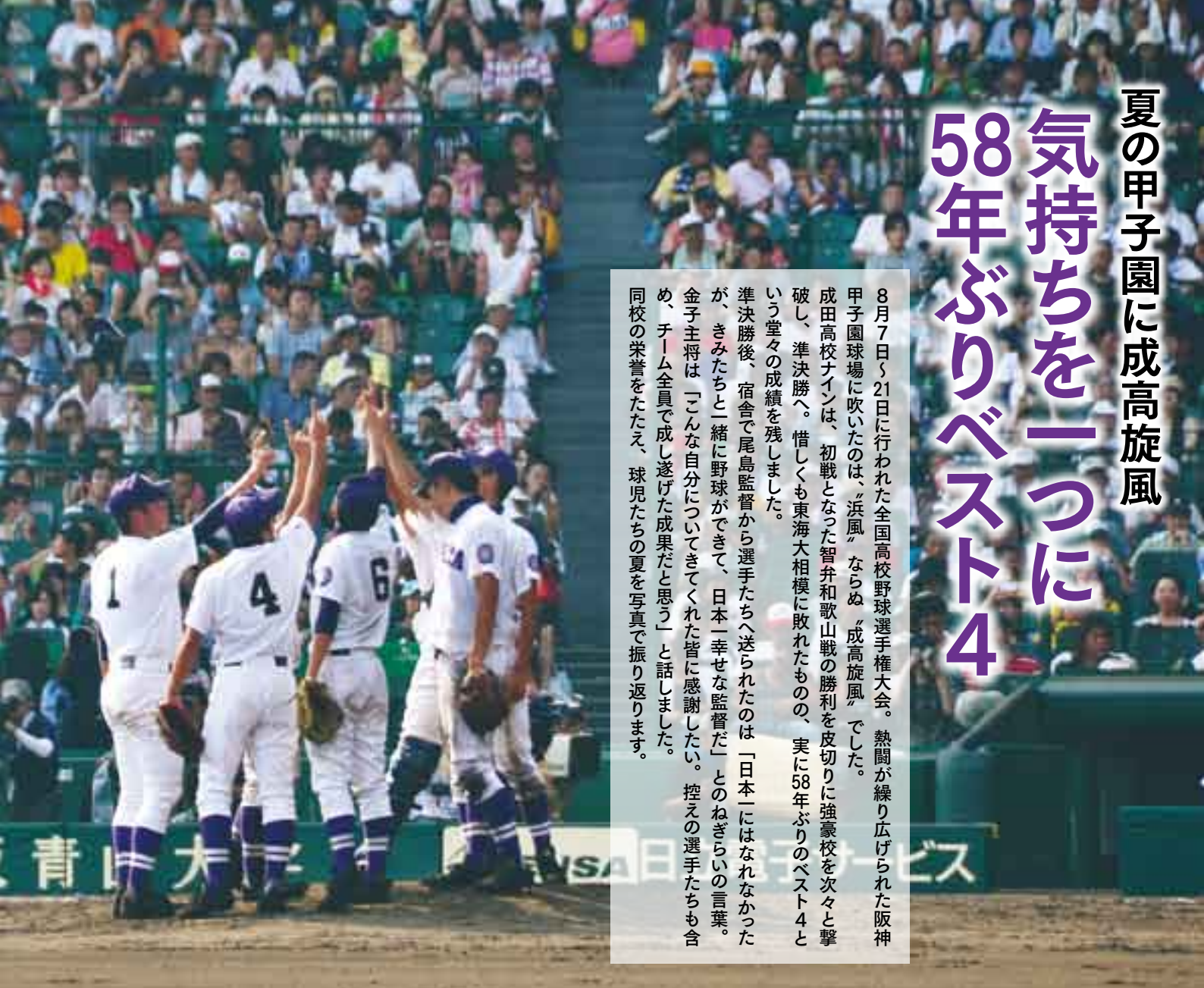
気持ちを一つに 58年ぶりベスト4

8月7日〜21日に行われた全国高校野球選手権大会。熱闘が繰り広げられた阪神甲子園球場に吹いたのは、「浜風」ならぬ「成高旋風」でした。

成田高校ナインは、初戦となった智弁和歌山戦の勝利を皮切りに強豪校を次々と撃破し、準決勝へ。惜しくも東海大相模に敗れたものの、実に58年ぶりのベスト4という堂々の成績を残しました。

準決勝後、宿舎で尾島監督から選手たちへ送られたのは「日本にはなれなかったが、きみたちと一緒に野球ができて、日本一幸せな監督だ」とのねぎらいの言葉。

金子主将は「こんな自分についてきてくれた皆に感謝したい。控えの選手たちも含め、チーム全員で成し遂げた成果だと思おう」と話しました。同校の榮譽をたたえ、球児たちの夏を写真で振り返ります。



試合結果

	対戦校	スコア
1回戦	智弁和歌山(和歌山)	2-1
2回戦	八戸工大一(青森)	10-2
3回戦	北大津(滋賀)	6-5
準々決勝	関東一(東東京)	6-3
準決勝	東海大相模(神奈川)	7-11

メンバー

1	投	中川 諒 (3年生)
2	捕	近藤 智椰 (3年生)
3	一	金子 裕大 (3年生)
4	二	大木 涼太 (3年生)
5	三	安随 大樹 (3年生)
6	遊	木村 祐司 (2年生)
7	左	高橋 究 (2年生)
8	中	岡 美地矢 (3年生)
9	右	勝田 優斗 (2年生)
10		加藤 智大 (3年生)
11		斎藤 俊介 (2年生)
12		関 祐太郎 (3年生)
13		向後 悠希 (3年生)
14		高塚 良太 (3年生)
15		石井 皓大 (3年生)
16		小野塚崇晃 (2年生)
17		門脇 祐太 (3年生)
18		川口 翔平 (3年生)

責任教師	梁川 啓介
監督	尾島 治信





①ピンチでマウンドに集まり、心を一つにするナイン②憧れの舞台上で堂々と入場行進③5試合・670球。一人でマウンドを守り抜いた中川投手の気迫の投球④チーム初打点を挙げ、今大会快進撃の口火を切った1番大木選手⑤金子選手は主将としてチームを引っ張った⑥4番で捕手の近藤選手は攻守の要⑦笑顔を決やさずエールを送るチアリーダー⑧劣勢でも最後まで勝利を祈るマネージャー⑨準決勝で敗れ、スタンドにあいさつ。悔し涙がほおを伝った⑩声をからして応援する“19人目の選手たち”⑪市役所ロビーに設けられた応援会場。モニター越しに多くの市民が声援を送った⑫ナインの活躍に沸きに沸いたアルプススタンド⑬敗戦後、“甲子園の土”を持ち帰る選手たち⑭20年ぶりの夏の甲子園出場を決めた瞬間⑮千葉大会優勝メダルが胸に輝く⑯東海大相模戦後、尾島監督からねぎらいの言葉が⑰宿舎で報道陣にダンスを披露。あどけない表情を見せてくれた⑱ナインの凱旋に、多くの市民が駆け付けた